



株式会社フェイス

FY19(2020年3月期) 通期決算説明資料

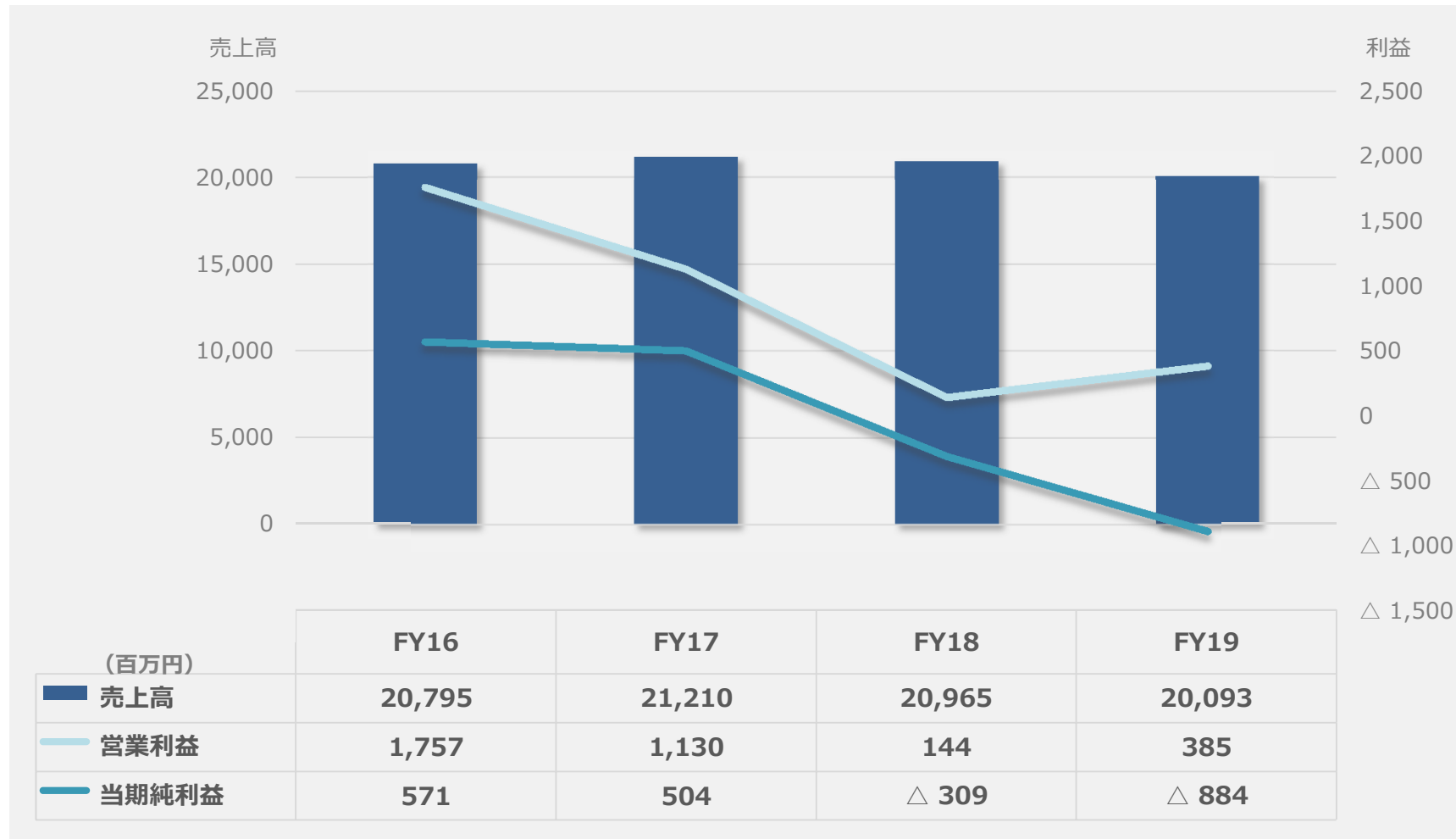
2020年5月29日
株式会社フェイス

2020年3月期
通期決算概要

FY19 連結業績ハイライト



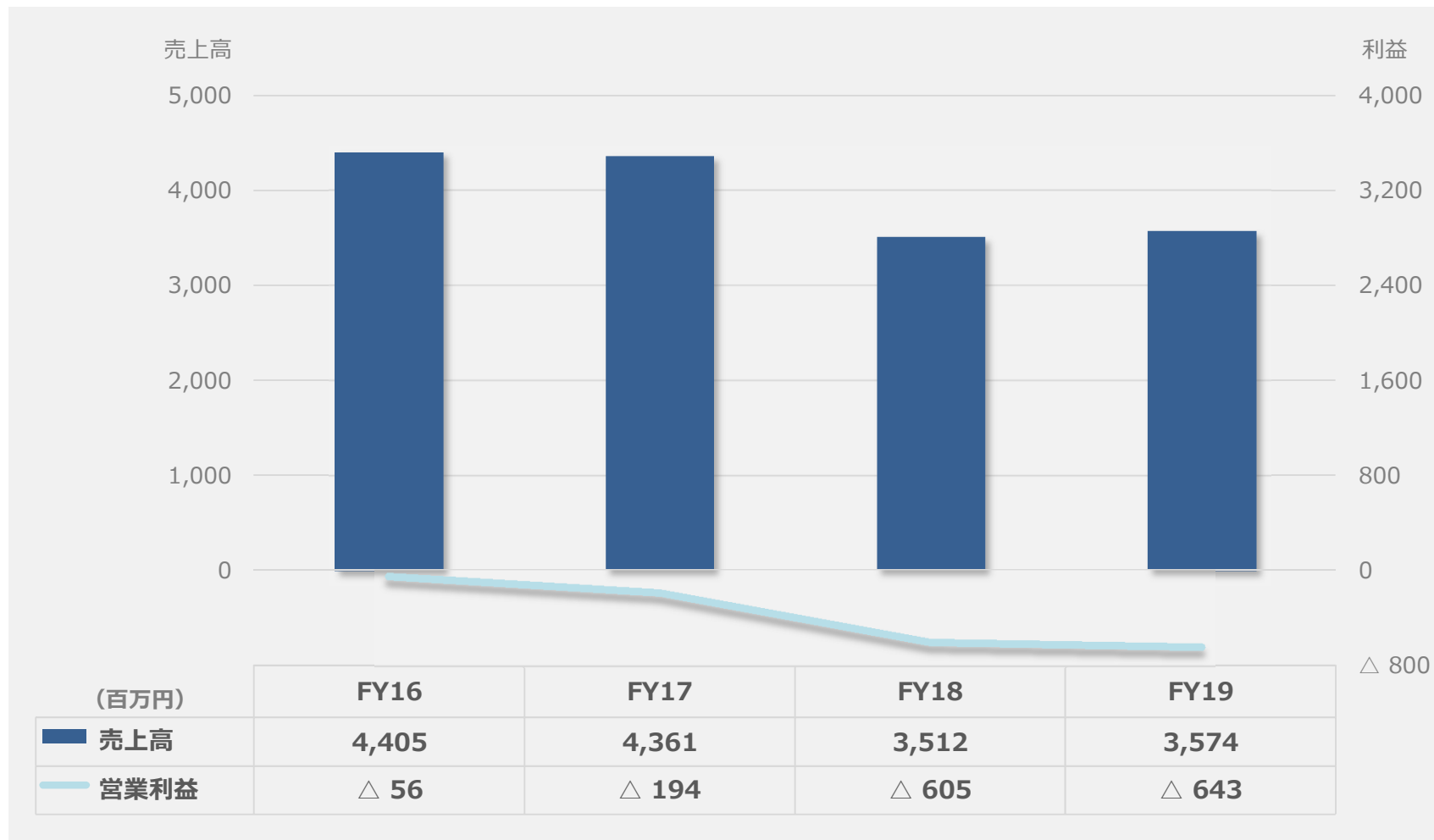
- 売上高 20,093百万円（前期比4.2%減）、営業利益 385百万円（前期比166.9%増）
- レーベル事業において売上は減少したものの、利益幅の大きい作品や音源使用売上の増加等により増益
- 投資事業組合運用益の計上により経常利益471百万円、減損損失544百万円計上により当期純損失884百万円



FY19 コンテンツ事業の業績



- 売上高3,574百万円（前期比1.8%増）、営業損失643百万円（前期は営業損失605百万円）
- 新規事業は売上に寄与するも、進捗に遅れ
- キャリア公式サイトサービスの売上減少、新型コロナウイルスの感染防止のための店舗営業休止等により減益

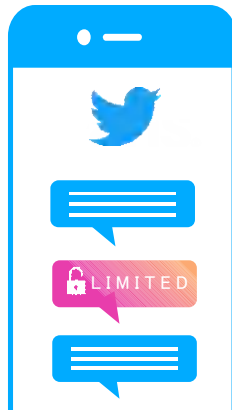


FY19 コンテンツ事業の業績



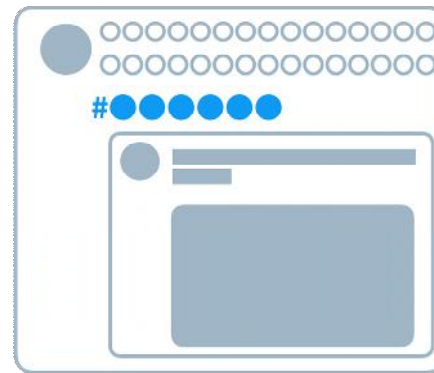
今後拡大が期待される「D2C」のビジネスモデルによるアーティスト向けプラットフォーム。「ツイッター」と連携したファンクラブを作成することで、従来のクローズドなものとは異なりファンの囲い込みと育成を同時に行うことが可能。(2019年6月リリース)

※「D2C」とは自社で企画・製造したサービス・商品を直接ユーザーに届けるビジネス形態。Direct to Consumerの略



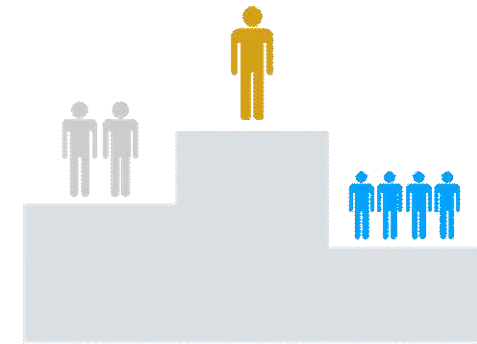
今まで通りツイートするだけ

Fans'からの投稿はツイッターと連動しているのでFans'からこれまで通りツイッターの更新をしながら、定期的にファン限定情報をポストするだけで簡単に運営ができます。



ファンがアンバサダーになる

ファンがアンバサダーとなり、クリエイターの投稿をツイッターで拡散してくれます。その際、アーティストが指定するハッシュタグが自動でつくので、より拡散されやすくなります。



独自のアンバサダープログラム

アンバサダーとしてのアクション数や期間、影響範囲などを数値化することで、貢献度が高いアンバサダーを可視化ができるようになる独自のプログラムが、Fans'にはあります。

クリエイター
利用料

無料

ファンクラブ
会費

300円/月

クリエイター
還元率

70%

※税別
※クレジットカード決済

FY19 コンテンツ事業の業績



Fans' 新機能の追加 (2020年1月)

- ✔ **クリエイター向けアプリ「Fans' Assistant」リリース**
「Fans'」のクリエイター専用アプリ。ウェブからでしか投稿できなかったポストがアプリから投稿可能となり、通知機能がより充実し、ファンからのリアクションをリアルタイムで確認が可能



Fans' PR大使の任命 (2020年4月)

- ✔ **アイドルユニット「つぼみ大革命」がPR大使に**
歌やダンスはもちろん、コントを取り入れたストーリーのある独自のライブパフォーマンスが結成10周年を迎えて益々話題となっている「つぼみ大革命」をPR大使に任命



Fans' クリエイター数の増加

- ✔ **登録クリエイター数が3,200名を突破 (2020年5月現在)**
2019年6月のリリースから11ヶ月が経ち、登録しているクリエイター数は3,200名を突破。クリエイターはアーティストやタレントだけにとどまらず、スポーツコーチや映像クリエイター、ファッションコーディネーターといった様々なジャンルにわたる

FY19 コンテンツ事業の業績



ロケーションビジネス

音楽を軸としたアート、フード、エンタテインメントの要素を合わせ持つ空間として新しいライフスタイルを提案

PLUSTOKYO (銀座一丁目) 2018年にオープンした都内最大級の2フロアからなるミュージックラウンジ



- ・ 2019年6月: ルーフトップで深夜までリゾート感覚でバーベキューが楽しめる「PLUSTOKYO ROOFTOP GARDEN BBQ」開始
- ・ 2019年9月: ラグビーワールドカップ2019™日本大会のパブリックビューイング「爆音ラグビー」開催
- ・ 2019年11月: オープン1周年を記念したイベント「PLUSTOKYO 1st. ANNIVERSARY」開催



CROCKET MIMIC TOKYO (六本木)



2019年6月にオープンした、ものまねタレントのコロツケ氏がプロデュースするライブ・エンタテインメント施設

ものまねを中心とした世界の一流パフォーマンスを提供するナイト・エンタテインメントのユニークベニューとして事業を開始

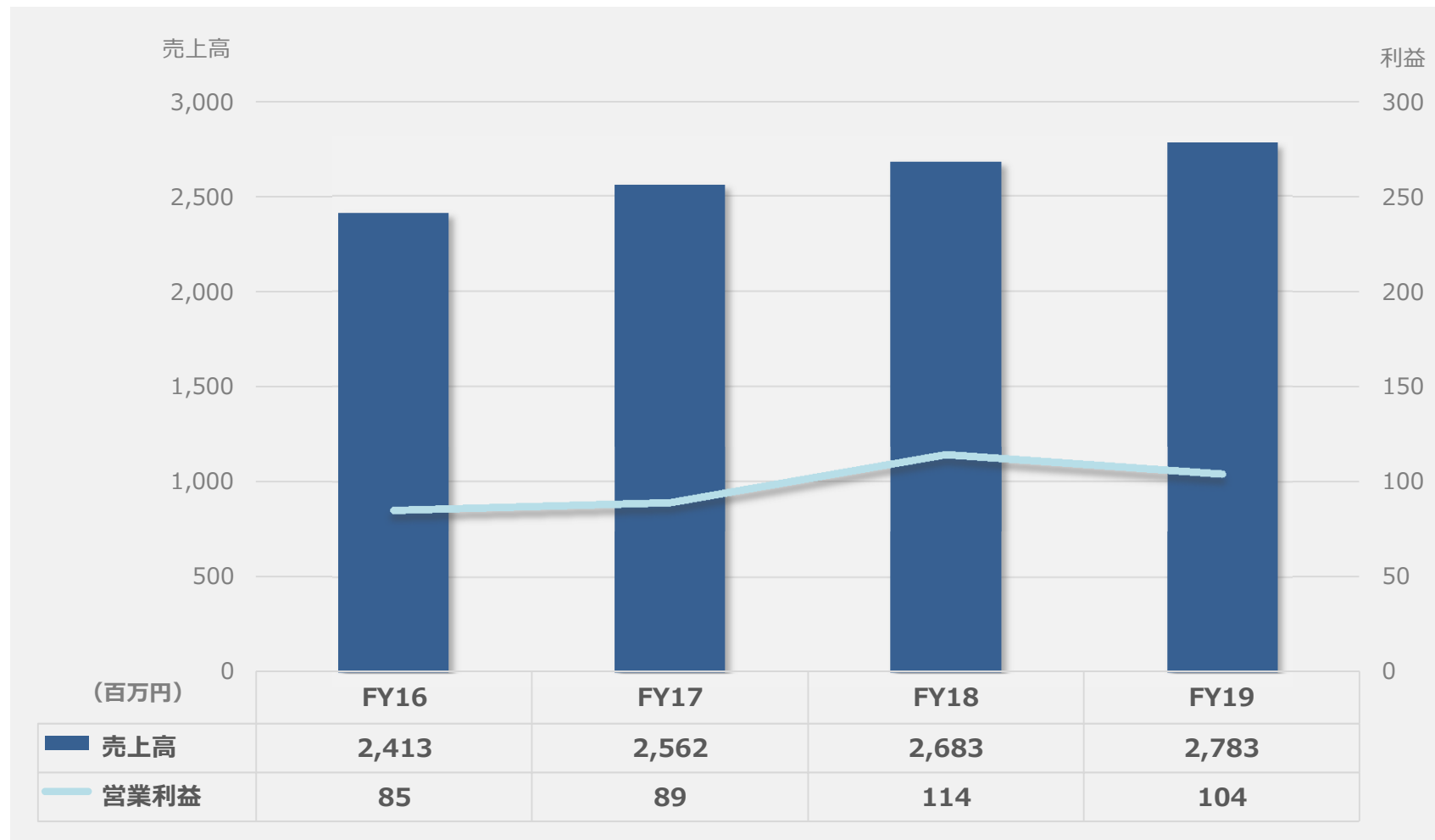
新型コロナウイルスの影響

- ・ PLUSTOKYO、CROCKET MIMIC TOKYOは3月より順次店舗の営業を休止
- ・ 今後の政府指導等による方針や行動計画に基づき、感染拡大の防止と安全確保を最優先に、店舗再開を目指す

FY19ポイント事業の業績



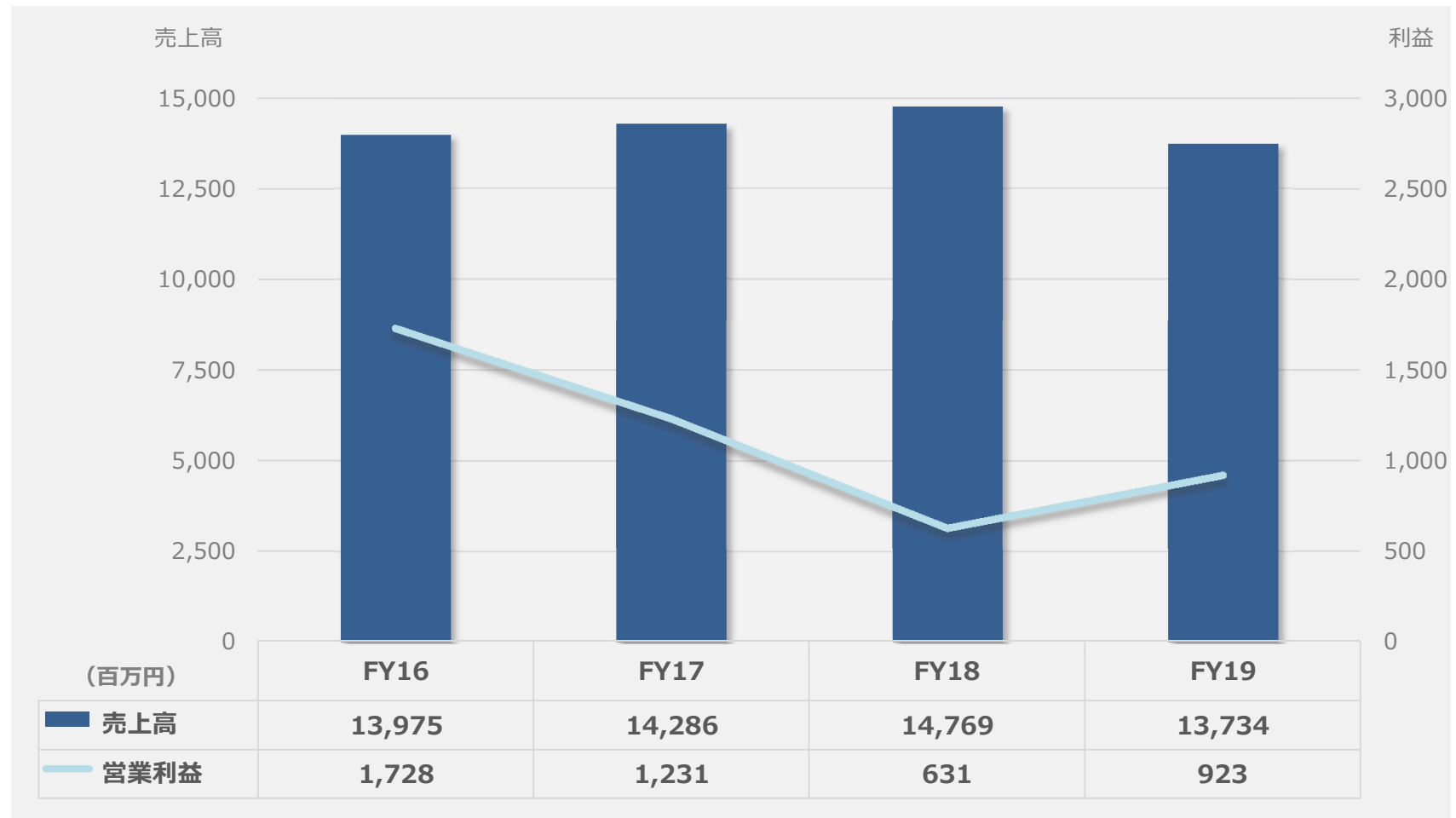
- 販売促進施策の展開により、既存加盟店のポイント発行が堅調に推移
- 売上高は3.8%増の2,783百万円、棚卸資産の評価減の増加により営業利益は9.0%減の104百万円



FY19レーベル事業の業績



- ドリーミュージックのアニメ関連作品、日本コロムビアのアニメ作品やゲーム作品の売上減少により売上高は7.0%減の13,734百万円
- 3Qより連結子会社化したKSRの業績は単独黒字と堅調
- 日本コロムビアの所属アーティストの好調なライブ売上により、営業利益は46.3%増の923百万円



FY19レーベル事業の業績



主要な自社マネージメントアーティスト ライブイベント

- 2019年3月 コレサワ「ワンマンツアー2019 おめかしツアーVol.1」
- 2019年4月 04 Limited Sazabys 「YON FES 2019」
- 2019年4月 Project110
- 2019年6月 新羅慎二「弾き語りツアー2019～2020『武者修行』」
- 2019年8月 LEO今井「大都会ツアー」
- 2019年8月 ネクライトーキー「ワンマンツアー2019 "ゴーゴートーキーズ！ 全国編"」
- 2019年9月 04 Limited Sazabys 「YON EXPO」
- 2019年9月 Opus One: Live @ Hakuju Hall Vol.1
- 2019年9月 上妻宏光「上妻宏光 宮沢和史 DAZZLE 音楽舞踊劇『新選組・土方歳三』」
- 2019年10月 AIRFLIP 「NEO-N Tour 2019-2020」
- 2019年10月 KOHH 「"Untitled" Tour」
- 2019年11月 WOMCADOLE 「旅鼓堂堂ツアー」
- 2019年12月 Opus One: Live @ Hakuju Hall Vol.2
- 2019年12月 カーリングストーンズ
「カーリングストーンズTOUR 2019-2020『やったあ！明日はストーンズだ！』」 *ドリーミュージック制作協力



YON FES 2019/ 04 Limited Sazabys



Project110



弾き語りツアー2019「武者修行」/新羅慎二



YON EXPO/ 04 Limited Sazabys



カーリングストーンズTOUR 2019-2020
「やったあ！明日はストーンズだ！」/カー
リングストーンズ

FY19レーベル事業の業績



主要なリリース

音楽ソフト

- ・「THE IDOLM@STER」シリーズ
- ・「新・演歌名曲コレクション9 -大丈夫/最上の船頭-」氷川きよし
- ・「新・演歌名曲コレクション10 -龍翔鳳舞-」氷川きよし
- ・「母」氷川きよし
- ・「大丈夫/最上の船頭」氷川きよし
- ・「TREASURE EP.Map To Answer」ATEEZ
- ・「TREASURE EP.EXTRA:Shift The Map」ATEEZ
- ・「ゼルダの伝説 夢をみる島 Original Soundtrack」任天堂
- ・「あるわけないの」まねきケチャ
- ・「2019 ポップ・ヒット・マーチ ~U.S.A./QUEENメドレー~」コロムビア・オーケストラ
- ・「映画『マチネの終わりに』オリジナル・サウンドトラック」福田進一、福山雅治、荘村清志
- ・「『ピアノの森』Piano Best Collection II」反田恭平、牛牛 ほか
- ・「PopSkip」伊藤未来
- ・「SEED」04 Limited Sazabys
- ・「あれから」美空ひばり (AI歌唱)
- ・「東映・スーパー戦隊シリーズ」
- ・「氷上のならず者」カーリングストーンズ
- ・「デビューライブ！
～カーリング・ストーンズと近所の石～」カーリングストーンズ
- ・「MAGICAL SUPERMARKET」マジカル・パンチライン
- ・「F」ファンキー加藤



氷川きよし

ATEEZ



映画「マチネの終わりに」

ゼルダの伝説 夢をみる島

美空ひばり (AI歌唱)



カーリングストーンズ

マジカル・パンチライン

ファンキー加藤

FY19レーベル事業の業績



主要なリリース

映像ソフト

- ・ 「NHKいないいないばあっ！」シリーズ
- ・ 「THE IDOLM@STER CINDERELLA GIRLS 6th LIVE MERRY-GO-ROUNDOME!!!」
- ・ 「THE YELLOW MONKEY SUPER BIG EGG 2017」 THE YELLOW MONKEY
- ・ 「氷川きよし デビュー20周年記念コンサート -龍翔鳳舞- in 日本武道館」 氷川きよし
- ・ 「THE IDOLM@STER CINDERELLA GIRLS SS3A Live Sound Booth♪」
- ・ 「氷川きよし・スペシャルコンサート2018 きよしこの夜Vol.18」 氷川きよし
- ・ 「ALL TIME BEST『35』～35th Anniversary Tour 2017～ LIVE IN 日本武道館」 安全地帯
- ・ 「サラ・ブライトマン イン・コンサート HYMN～神に選ばれし麗しの歌声」 サラ・ブライトマン



「NHKいないいないばあっ！」シリーズ



THE IDOLM@STER CINDERELLA GIRLS



THE YELLOW MONKEY



サラ・ブライトマン



安全地帯

ゲームソフト

- ・ 「すみっコぐらし 学校生活はじめるんです」 <Nintendo Switch™>
- ・ 「映画すみっコぐらし とびだす絵本とひみつのコ ゲームであそぼう！ 絵本の世界」 <Nintendo Switch™>



すみっコぐらし 学校生活はじめるんです



映画すみっコぐらし とびだす絵本とひみつのコ ゲームであそぼう！ 絵本の世界

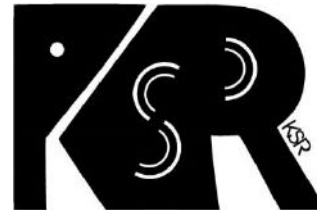
FY19レーベル事業の業績

2019年10月：KSRLレーベルの全株式を取得し完全子会社化

- ・「湘南乃風」のメンバー「若旦那」でもある新羅慎二氏が手掛ける国内レーベル
- ・ダンスミュージックを中心に様々なアーティストを輩出



新羅
慎二



JP
THE
WAVY

- ・アーティスト向けプラットフォーム事業と連携を図るとともにアーティストのマネージメント、育成・開発、楽曲制作、宣伝、販売など各々の事業に対する相乗効果を狙う
- ・FY2019下期の業績も堅調であり、売上・利益に寄与

FY19セグメント別連結業績（前期との比較）

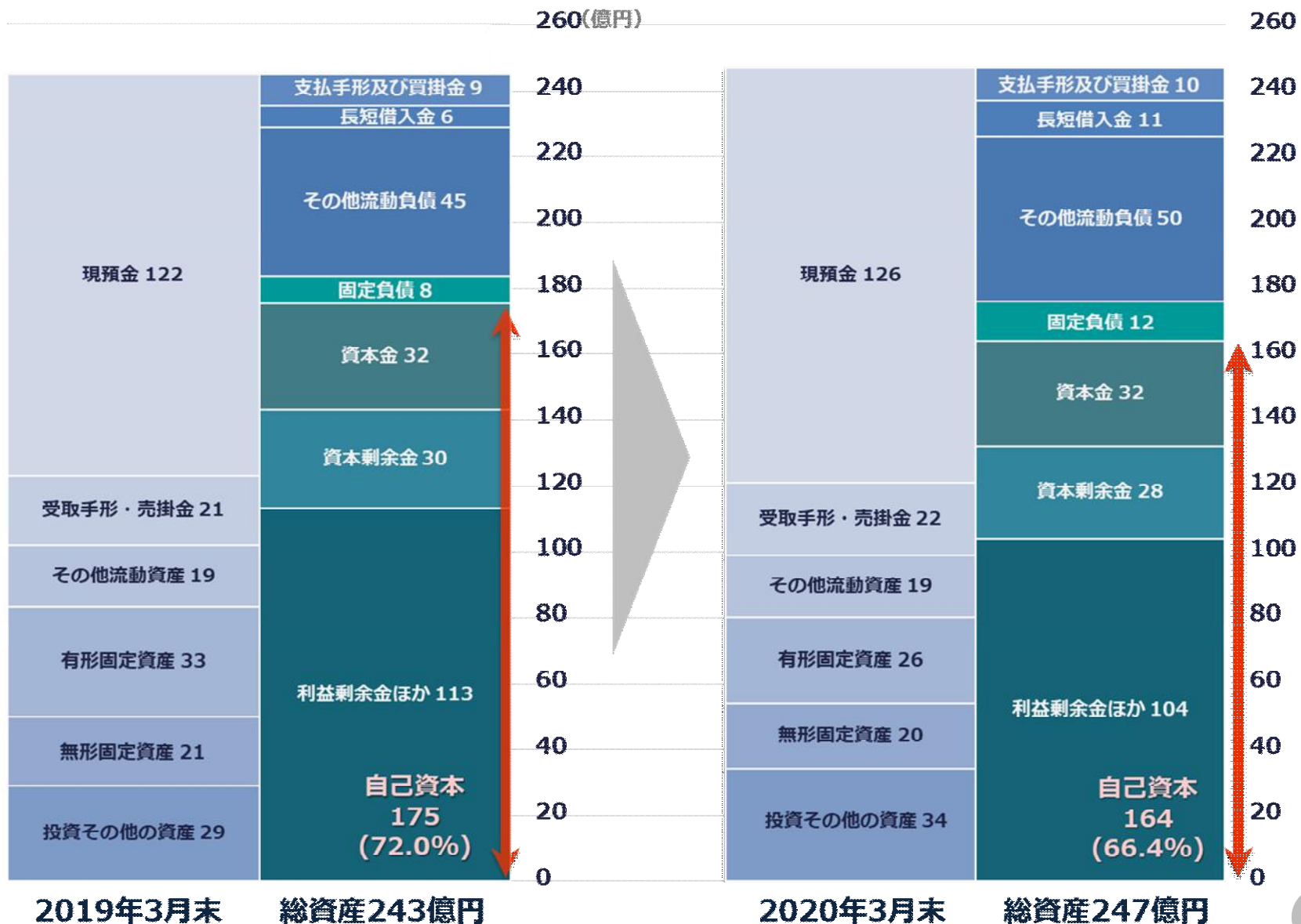


(百万円)

	FY18	FY19	増減額	増減率
売上高	20,965	20,093	△ 872	△ 4.2%
コンテンツ事業	3,512	3,574	+61	+1.8%
ポイント事業	2,683	2,783	+100	+3.8%
レーベル事業	14,769	13,734	△ 1,034	△ 7.0%
営業利益	144	385	+240	+166.9%
コンテンツ事業	△ 605	△ 643	△ 38	—
ポイント事業	114	104	△ 10	△ 9.0%
レーベル事業	631	923	+291	+46.3%
調整額※	3	1	△ 2	△ 62.4%
経常利益	△ 586	471	+1,058	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 309	△ 884	△ 575	—

※調整額はセグメント間取引消去によるもの。

連結貸借対照表（前期末との比較）



2021年3月期
業績予想

FY20 通期業績予想



連結業績予想：2021年3月期の業績予想は未定

- ✓ 先行き不透明な状況が続くものと予想
- ✓ 現段階で業績への影響を予想することが困難
- ✓ 合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表を予定

レーベル事業

- 発売タイトルの延期や中止が発生
- 主力アーティストの多くのイベントも中止または延期

コンテンツ事業

- 当社が運営するミュージックラウンジなどの飲食店舗2店舗において営業を休止
- 現時点で再開の時期を見通すことは困難

配当予想：1株当たり10円（うち中間配当5円）の継続

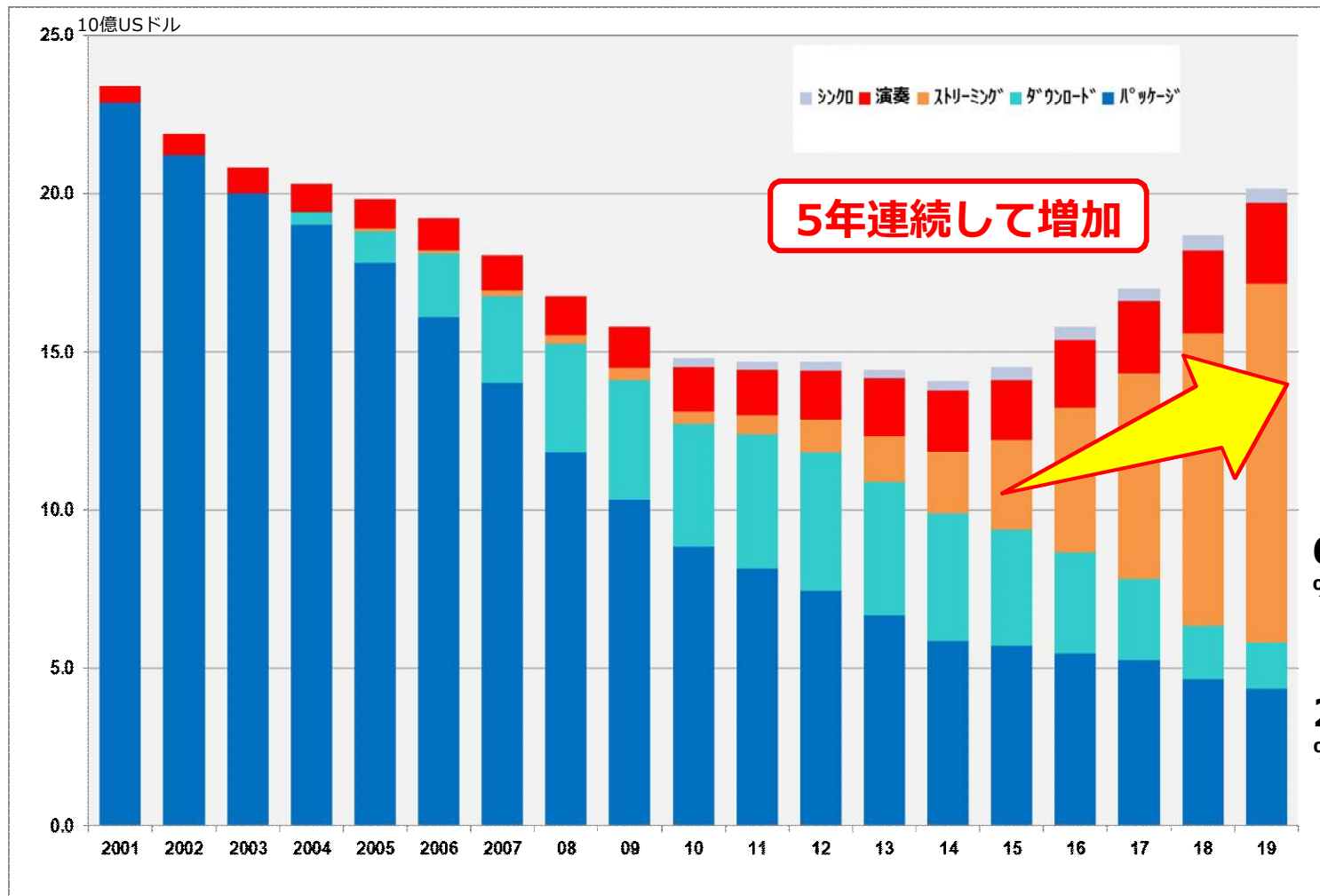
業績予想は困難な状況だが、継続的な安定配当の基本方針のもと、1株当たり10円（うち中間配当5円）の配当を予定

市場環境

世界の音楽市場



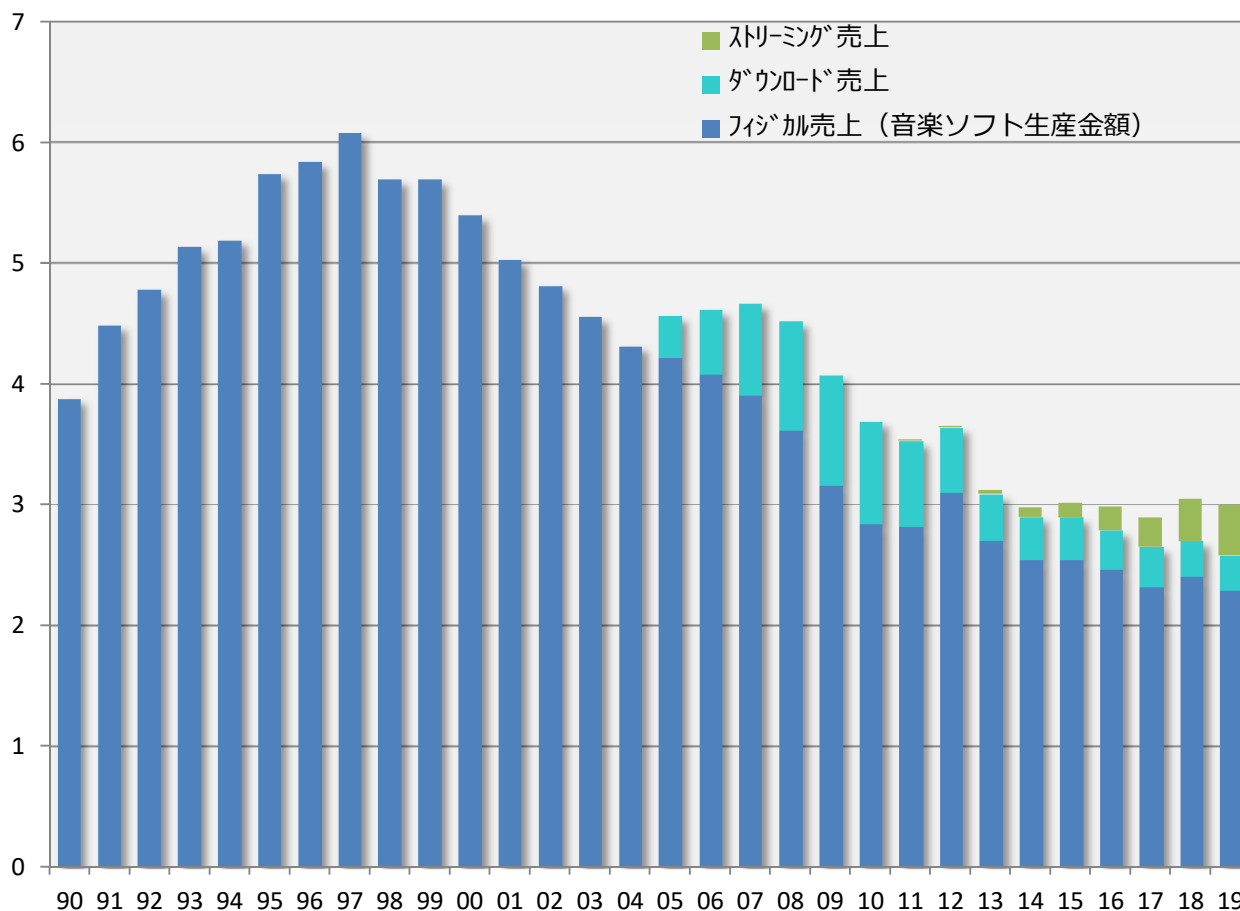
- 前年比+8.2%の約2兆2千億円(202億ドル)⇒5年連続の増加
- ストリーミングの増加は23%の増加(2018年 92億ドル⇒ 2019年 114億ドル)
- デジタルの売上は市場の64%に達している



日本の音楽市場



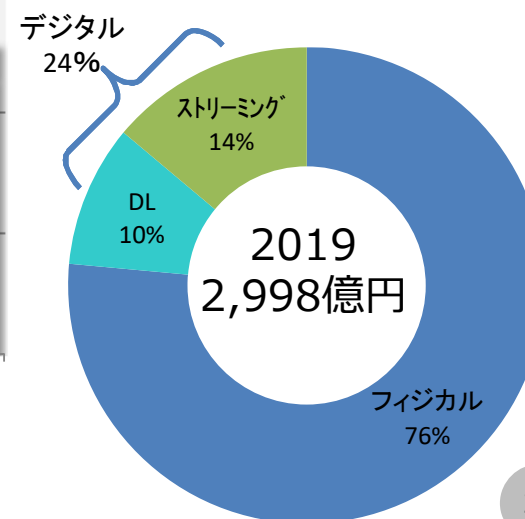
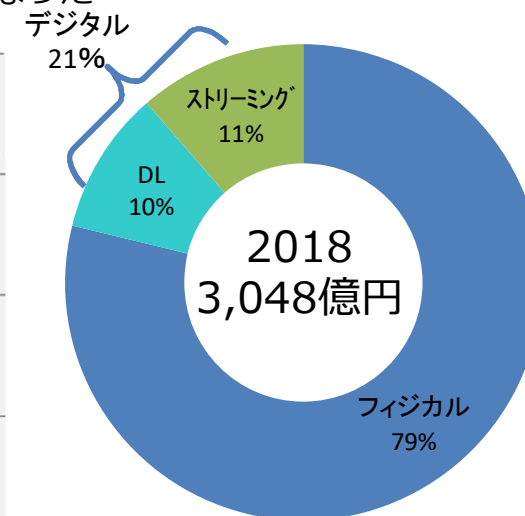
- 音楽ソフト生産金額と音楽配信売上金額の合計は、2,998億円(前年比98%)フィジカル売上は76%
- 音楽配信売上は706億円(前年比110%)⇒6年連続の増加
- デジタル売上は24%、特にストリーミング売上の増加が顕著であり14%となった



単位：千億円、暦年

出典：日本レコード協会「日本のレコード産業 2020」をもとに会社作成

©2020 Faith, Inc. All Rights Reserved.



日本の音楽市場



- 音楽デジタル配信売上は6年連続増加し、706億円（前年比110%） ⇒6年連続の増加
- 2013年386億円より増加に転じている
- ストリーミング売上の増加は前年比133%となり、配信売上の66%を占めている

億円



新型コロナウイルス感染症による 影響と対策について

新型コロナウイルス感染症による 影響と対策について

イベント及び店舗の休止・延期

- アーティストイベントや発売タイトルの延期や中止が発生
- 当社運営の飲食店舗2店舗において3月より順次営業を休止



在宅勤務導入

- 社員は在宅勤務へ移行し、テレビ会議システムなどを有効的に活用
- 従前から在宅勤務環境を整備しており、移行はスムーズ



情報の収集および共有

- 政府・自治体等からの通達を速やかに社員へ通知、共有
- 発熱等の症状がある社員は会社へ報告を実施



～様々なステークホルダーを感染から守り、対策を実施～
必要な対策は今後も継続

新型コロナウイルス感染症による 影響と対策について



今後予想される影響及び対応策について

コンテンツ事業

- 当社が運営するミュージックラウンジなどの飲食店舗2店舗において3月より順次営業を休止
- 今後の政府指導等による方針や行動計画に基づき、感染拡大の防止と安全確保を最優先に、店舗再開を目指す

レーベル事業

- 発売タイトルの延期や中止が発生
- 主力アーティストの多くのイベントも中止、延期
- WEB開催イベントおよびライブの積極的な実施

ポイント事業

- お客様のキャンペーンの多くが中止・延期になっているため、セルフリキデーションへの影響が今後見込まれる

新型コロナウイルス感染症による 影響と対策について



当社グループの財務基盤について



- 現預金 保有残高12,635 百万円
- 自己資本比率 66.4%
- 堅実な業績により、十分なキャッシュポジションを保有
- 今後もエンタテインメント業界において戦略的かつ機動的な投資を行い、事業環境の変化に迅速かつ柔軟に対応

